

生涯学習センター

センター長 常岡 寛

委員長：常岡 寛（センター長・眼科学教授）
委員：西村 理明（内科学准教授）
鳥海弥寿雄（外科学准教授）
大野 昭彦（同窓会）
高木 敬三（専務理事）

1. 年間の利用者

1) 平成 26 年 3 月末現在登録者は 222 名、（うち港区医師会 31 名、中央区医師会 6 名）である。この 1 年の新規登録者数はなし、物故者は 7 名である。年間の利用者は 135 名、延利用者数 7,077 名である。

2) テレフォンサービスの利用は、81 件、月平均は 7 件である。なお、発足以来の延べ利用件数は 4,691 件となっている。

2. 活動

1) 平成 25 年 8 月 3 日（土）午後 4 時より大学 1 号館講堂において第 34 回夏季セミナーが開催された。

メインテーマは「ここまで来た加齢疾患の最新治療」であり、内田 満 先生（形成外科）の司会で行われ、参加者は 81 名であった。なお、各テーマと演者は次のとおりである。

- ①白内障の最新治療
常岡 寛（眼科）
- ②加齢・変性疾患に対する人工股関節置換術の変遷と現状
大谷卓也（整形外科）
- ③高齢者心臓手術における狭心症と大動脈弁狭窄症
儀武路雄（心臓外科）
- ④腰部脊柱管狭窄症 薬物と手術療法の進歩
谷 論（脳神経外科）
- ⑤高齢者でも脳卒中後遺症である上肢麻痺はよくなるのか？
安保雅博（リハビリテーション科）

2) 月例セミナーは平成 25 年 4・5・6・7・9・11 月、平成 26 年 2・3 月の計 8 回、各月の第 2 土曜日の午後 4 時から次のように開催した。

(4 月)
「新型うつ病」の理解と対応－従来型との比較から－
中村 敬（精神神経科）

(5 月)
疲労のメカニズムと疾患の関係
近藤博一（ウイルス学）

(6 月)
ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの現状
岡本愛光（産婦人科）

(7 月)
新しい骨粗鬆症の病型分類にもとづく治療薬の使いわけ－生活習慣病は要注意－
斎藤 充（整形外科）

(9 月)
インフルエンザ・ノロウイルス対策
中澤 靖（感染制御部）

(11 月)
糖尿病の最新治療
佐々木敬（糖尿病・代謝・内分泌内科）

(平成 26 年 2 月)
甲状腺・副甲状腺疾患の診断と外科的治療
武山 浩（乳腺・内分泌外科）

(3 月)
画像診断のピットホール
関谷 透（画像診断部）

3) 「生涯学習センターニュース」を発行し、利用会員各位・月例セミナー出席者（非会員）に発送している。平成 26 年 3 月で 274 号となっている。

4) 「生涯学習シリーズ」を作成し、慈大新聞 4 月・10 月号に挟み込み発行した。